

地方創生 SDGs 金融調査・研究会(第 26 回)の開催結果について (概要)

○日時:令和 6 年 6 月 25 日 10:00-12:00

○場所:ハイブリッド(内閣府・オンライン)

○出席委員:村上座長、竹ヶ原座長代理、大久保(尊)委員、大久保(光)委員、金井委員、
蟹江委員、萱津委員、千葉委員(欠席:太田委員、富永委員)

○議事総括:

① 地方創生 SDGs 金融の経緯

- ・ 事務局より、地方創生 SDGs 金融の全体像及び昨年度の成果について説明
- ・ 委員からの意見は次のとおり
 - 小規模団体にとっても有効的な施策となるような議論をしていきたい
 - 地方自治体・地域事業者・地域金融機関が互いに理解及び連携可能な仕組みについて議論していきたい

② 令和 6 年度 地方創生 SDGs 金融 調査・研究会開催計画

- ・ 事務局より、本年度の地方創生 SDGs 金融 調査・研究会開催計画について説明
- ・ 委員からの意見は次のとおり
 - 地方創生 SDGs 金融の取組をどのようにして効果的に促進させるかについて議論し、ガイドラインへ反映していきたい

③ 第 26 回地方創生 SDGs 金融調査・研究会議事のご説明

- ・ 事務局より、第 26 回地方創生 SDGs 金融調査・研究会議事について説明
- ・ 議事は以下の 3 つ
 1. 「地方創生 SDGs 宣言・登録・認証制度ガイドライン確定版」の公表
 2. 「地方創生 SDGs 金融」や「自律的好循環」に取組む小規模自治体の裾野拡大に向けた検討
 3. 地方創生 SDGs 金融を通じた自律的好循環形成の先導的事例の調査・研究
- ・ 議題1について委員からの意見は次のとおり
 - ガイドラインに記載のインパクト評価は自治体にとってハードルが高いように感じられるため、位置づけについては今後検討したい
 - 宣言・登録・認証の定義を明確にしたい
- ・ 議事 2 について委員からの意見は次のとおり

- 地方自治体が政策課題を基に作成したチェックリストを地域金融機関が理解し、地域事業者の取組と紐づけることが必要かもしれない

○今後の展開

- ・ 次回第 27 回調査・研究会に向けて、本日の指摘を踏まえつつ、表明された意見を取りまとめ、検討を継続する